

“各地域のフッターの会をご紹介します”



フッター研修を修了したけど、

③ 近くの修了生とつながりたい、もっと勉強していきたい、資格を生かしたい、

との思いで設立しました。日本全国のおちこちに

広がると思いますね。(Mさん)

② 毎回こんな親会にま〜す。



キャラクターの「5県じゃー」

⑤ ラインで情報交換



⑥



3級研修(広島)にて (2017年3月)

①



研修会にて

②



実践報告会にて

④



水様便にみたてたものをいろんな軟便用パッドで実験



	北から南へ	名称	設立年	活動内容など
①	岐阜県高山市	おむぼぼの会	2012.7	現在14名。2ヶ月に1回の会議や勉強会。
②	富山県	富山ネットワーク	2013	昨年の実践報告会では地元開催なので、ボランティアスタッフとしてがんばりました。
③	京都府	京都チーム	2017.9	2ヶ月に1回むつき庵にて勉強会など。京都市介護実習普及センターの研修講師をする予定。
④	大阪府八尾市	八尾おむつフッターの会	2016.11	2017年は、大阪聴力障害者協会や大阪市認知症家族の会の要請で研修会開催
⑤	中国地方	中国5県おむつフッターの会	2013.4	2013・2015・2016年に介護応援セミナー開催。実践報告会(2017)にて活動発表。3級研修(広島)をお手伝い。
⑥	高知県	高知おむつフッター連絡会	2017.3	これから話し合っ活動していきます。ふくし機器展もやります。

(お問い合わせは、むつき庵まで)

(2017年末の状況です)

バリアフリー2018 予告

2018年4月19日(木)~21日(土)

テーマ「こんなおむつがほしかった」

浜田きよ子のセミナー
おむつをテーマにした製品比較
相談コーナー
おむつ総選挙
おむつ検定試験



おむつフッター倶楽部特別企画
ミニセミナー
おむつのミニファッションショー
ミニむつき庵とおむつフッター世話人合同総会



ボランティア募集中!

排せつケアのウェブマガジン



第8回(1月15日)の内容は..
「認知症のせいでいろいろなところに排泄してしまうおむつから尿漏れがある..」です。
浜田きよ子たっぷり!
毎月1回15日発行(別紙参照)

第8回実践報告会のアンケートより(2017年11月開催)

- ・みなさん、人のために何が一番いいか、何をしてあげたら楽になるのか、不快を与えず過ごせるかを考えていて素晴らしいと思いました。実行していることがすごい。
- ・一方的なケアにならないよう、気を付けたいと改めて思いました。
- ・佐藤先生の講演は厳しい状況にも温かさを感じました。
- ・日頃の疑問や悩みなども話し合える時間もあるといいのかなと思います。
- ・フッター倶楽部は今まで通り参加できるツアー見学、及び講演会をしていただけるとありがたいです。

語り部キャラクター

身体が不自由になった高齢者に必要なのは介護だと思われています。しかしSさんとともに過ごす中で、それ以上に大切なのは、その人を必要とする関係ではないのか、と思うようになりました。「何かをしてもらえるのは嬉しいけれど、私でも人の役に立てるのはもっと嬉しい」と..(中略)..仕事は、Sさんを元気にしていきました。そうだとすると身体を鍛える介護予防以上に、その人ができることを引き出し、それを役立てる環境作りは大切です。

(「『若い』の技法」より)

おむつフッター1級 滋賀の松田栄美子さん

1月15日に学び直して3級研修に参加しました。受講者の多さと熱気に圧倒されながら10年近く前の新鮮な気持ち思い出しました。

皆さんに排泄体験用のおむつを配る時には、

「これこそがおむつフッターのスタート! がんばって!」

と思わず声が出ました。

この研修では知識や技術も学びますがそれ以上に「その方の人生そのものを知り、関わる」ことの大切さが繰り返して語られます。そうでないと本当の意味でのケアはできません。皆さんもぜひ研修の真骨頂の部分を学びとってください。

私はまだその大事な部分が生かされていないので、これから模索していきます。